



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月8日

上場会社名 日特エンジニアリング株式会社 上場取引所 大
 コード番号 6145 URL http://www.nittoku.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)近藤 進茂
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役管理本部長 (氏名)坂口 賢三 (TEL)048(837)2011
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日~平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	13,984	△12.3	2,061	△33.6	2,162	△32.2	1,394	△25.5
24年3月期第3四半期	15,951	42.8	3,103	50.3	3,188	50.6	1,872	48.4

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 1,604百万円(△4.3%) 24年3月期第3四半期 1,675百万円(43.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	77 20	— —
24年3月期第3四半期	110 81	— —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	22,753	17,587	77.1
24年3月期	23,098	16,489	71.2

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 17,553百万円 24年3月期 16,456百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	— —	10 00	— —	18 00	28 00
25年3月期	— —	10 00	— —		
25年3月期(予想)				18 00	28 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日~平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,500	△4.8	2,850	△22.3	2,950	△21.5	1,900	△15.3	105 15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 —社(社名)—、除外 —社(社名)—
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	18,098,923株	24年3月期	18,098,923株
25年3月期3Q	30,122株	24年3月期	30,122株
25年3月期3Q	18,068,801株	24年3月期3Q	16,895,841株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における世界経済の動向は、終盤にかけ、アメリカでは緩やかな景気回復基調、主要国での株高基調、また、日本では円安など、やや明るい兆しが見えたものの、長期化する欧州債務危機問題に加え、新興国の景気減速が各国の経済に影響を与え、不透明感が拭えない状況で推移しました。

このような環境の中、当社グループの主力事業である巻線機事業に関連するマーケットは、第2四半期に全体的に低迷し、その影響で第3四半期の当社グループの売上は減少しました。しかしながら、情報通信業界の受注が回復、第2四半期末に比べ受注残高が増加し、生産は繁忙な状況が継続しました。

当社グループの巻線機事業は、顧客の製品のニーズごとに応じた多種多様の生産設備を開発、製造し、その後には量産する形態が中心となります。当第3四半期連結会計期間は、開発のニーズが多く、量産の多かった昨年対比で利益率が低下しております。ただ、当社グループは、日本のものづくりを守るため常に技術開発を探索することによって、世界におけるトップランナーの地位を守っていく方針であり、営業利益率15%クリアを目標としながら、新たな設備の開発に努めてまいります。

これらの結果、売上高は139億84百万円（前年同期比12.3%減）、営業利益は20億61百万円（前年同期比33.6%減）、経常利益は21億62百万円（前年同期比32.2%減）、四半期純利益は13億94百万円（前年同期比25.5%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(巻線機事業)

全売上高の約96%を占める巻線機事業におきましては、前述のとおり、設備投資が全体的に低下した影響により、連結売上高は133億96百万円（前年同期比13.0%減）、セグメント利益（営業利益）は23億20百万円（前年同期比32.4%減）となりました。なお、当社個別ベースでの受注高は106億34百万円（前年同期比32.3%減）、売上高（生産高）は117億96百万円（前年同期比15.7%減）、当第3四半期末の受注残高は61億54百万円（前年同期比30.3%減）となりました。

(非接触ICタグ・カード事業)

非接触ICタグ・カード事業におきましては、低下していたカスタマーの発注マインドがやや回復し、連結売上高は4億27百万円（前年同期比10.9%増）、セグメント利益（営業利益）は1億13百万円（前年同期比162.4%増）となりました。なお、当社個別ベースでの受注高は3億96百万円（前年同期比16.5%減）、売上高（生産高）は4億27百万円（前年同期比10.9%増）、当第3四半期末の受注残高は1億54百万円（前年同期比24.9%減）となりました。

(不動産賃貸事業)

不動産賃貸事業におきましては、連結売上高は1億60百万円（前年同期比0.4%減）、セグメント利益（営業利益）は1億33百万円（前年同期比16.2%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は前連結会計年度末対比9億66百万円減少し、148億66百万円となりました。これは主として、現金及び預金が5億82百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が4億39百万円、仕掛品が8億15百万円、原材料及び貯蔵品が1億47百万円、繰延税金資産が1億70百万円減少したことによります。

固定資産は前連結会計年度末対比6億20百万円増加し、78億86百万円となりました。これは主として、長崎事業所の用地取得、工場設立等により土地が1億13百万円、有形固定資産その他(純額)が4億50百万円増加したことによります。

この結果、資産合計は前連結会計年度末対比3億45百万円減少し、227億53百万円となりました。

(負債)

流動負債は前連結会計年度末対比14億76百万円減少し、40億10百万円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金が9億32百万円、未払法人税等が6億89百万円減少したことによります。

固定負債は前連結会計年度末対比32百万円増加し、11億54百万円となりました。これは主として、負ののれんが34百万円減少したものの、退職給付引当金が66百万円増加したことによります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末対比14億44百万円減少し、51億65百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末対比10億98百万円増加し、175億87百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の数値は、今後のさまざまな要因により異なる結果となる可能性があります。なお、平成24年11月9日に公表しました通期業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

重要性がないため、記載を省略しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,523,158	8,105,329
受取手形及び売掛金	4,120,361	3,680,698
仕掛品	2,956,510	2,141,123
原材料及び貯蔵品	723,097	575,744
繰延税金資産	263,357	93,352
その他	263,758	274,121
貸倒引当金	△16,795	△3,390
流動資産合計	15,833,448	14,866,978
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,366,925	2,279,373
機械装置及び運搬具(純額)	330,436	347,195
土地	1,524,705	1,638,441
その他(純額)	118,028	568,230
有形固定資産合計	4,340,095	4,833,240
無形固定資産		
その他	86,485	95,754
無形固定資産合計	86,485	95,754
投資その他の資産		
投資有価証券	1,267,317	1,364,860
繰延税金資産	1,040,425	1,060,072
その他	538,827	538,955
貸倒引当金	△7,807	△6,556
投資その他の資産合計	2,838,762	2,957,331
固定資産合計	7,265,344	7,886,326
資産合計	23,098,792	22,753,305
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,776,643	2,844,531
未払法人税等	768,610	79,149
賞与引当金	300,386	148,287
その他	641,434	938,819
流動負債合計	5,487,075	4,010,789
固定負債		
退職給付引当金	264,053	331,040
負ののれん	69,311	34,655
その他	789,082	789,007
固定負債合計	1,122,447	1,154,703
負債合計	6,609,522	5,165,492

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,884,928	6,884,928
資本剰余金	2,542,054	2,542,054
利益剰余金	7,243,931	8,132,993
自己株式	△22,917	△22,917
株主資本合計	16,647,996	17,537,058
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,631	61,604
為替換算調整勘定	△188,655	△45,568
その他の包括利益累計額合計	△191,287	16,035
少数株主持分	32,561	34,718
純資産合計	16,489,269	17,587,812
負債純資産合計	23,098,792	22,753,305

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	15,951,733	13,984,952
売上原価	10,993,171	9,978,984
売上総利益	4,958,561	4,005,968
販売費及び一般管理費	1,855,152	1,944,625
営業利益	3,103,408	2,061,343
営業外収益		
受取利息	6,737	15,620
受取配当金	27,071	23,448
負ののれん償却額	34,655	34,655
その他	28,438	32,858
営業外収益合計	96,904	106,583
営業外費用		
債権売却損	5,214	5,211
その他	6,243	318
営業外費用合計	11,458	5,530
経常利益	3,188,854	2,162,396
特別利益		
固定資産売却益	25	20,043
投資有価証券売却益	—	59,908
投資有価証券償還益	2,221	—
その他	287	1,629
特別利益合計	2,534	81,581
特別損失		
固定資産売却損	21	9,922
固定資産除却損	3,898	2,266
投資有価証券評価損	24,738	67,852
減損損失	107,358	—
災害による損失	2,200	—
その他	—	1,296
特別損失合計	138,216	81,337
税金等調整前四半期純利益	3,053,171	2,162,640
法人税、住民税及び事業税	1,021,707	615,870
法人税等調整額	161,452	151,477
法人税等合計	1,183,160	767,347
少数株主損益調整前四半期純利益	1,870,011	1,395,292
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△2,216	303
四半期純利益	1,872,227	1,394,988

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,870,011	1,395,292
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△143,103	64,236
為替換算調整勘定	△51,052	144,940
その他の包括利益合計	△194,155	209,176
四半期包括利益	1,675,855	1,604,469
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,679,954	1,602,312
少数株主に係る四半期包括利益	△4,099	2,157

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	巻線機事業	非接触ICタグ・ カード事業	不動産賃貸事業	
売上高				
外部顧客への売上高	15,404,817	385,794	161,120	15,951,733
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	15,404,817	385,794	161,120	15,951,733
セグメント利益	3,435,739	43,350	114,586	3,593,676

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	3,593,676
全社費用(注)	△490,268
四半期連結損益計算書の営業利益	3,103,408

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	巻線機事業	非接触ICタグ・ カード事業	不動産賃貸事業	
売上高				
外部顧客への売上高	13,396,530	427,905	160,516	13,984,952
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	13,396,530	427,905	160,516	13,984,952
セグメント利益	2,320,919	113,768	133,164	2,567,851

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,567,851
全社費用(注)	△506,508
四半期連結損益計算書の営業利益	2,061,343

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)
該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。